

## 第 58 回神奈川県立座間谷戸山公園 現場研修会報告

—テーマ：樹林環境の順応的管理—

2月の研修会は、園内の樹林地の順応的管理として、常緑低木の間伐や落ち葉かきを行いました。



2月20日。気温は低いものの、天気恵まれて穏やかな気候の中、研修会がスタートしました。



今回のテーマである樹林環境の順応的管理として、午前中は落ち葉かきを行いました。



落ち葉かきというと、難しい作業ではありませんが、その中にも上手く効率的にやる方法がちゃんとあると、講師の石川先生から説明を受けます。



まずは、落ち葉かきをする場所に落ちて  
いる枝をあらかじめ拾っておきます。  
そうすることで熊手に枝が引っ掛かからず、  
作業効率が上がります。



そのあとに、熊手で落ち葉をかきます。  
このとき、できるだけ林床の面に沿って  
かくのがポイント。



そして集めた落ち葉を、落ち葉貯めに運んで  
いきます。このときも、一回で多くの落ち葉を  
持ち運ぶコツがあるとのことでしたが、  
なかなかうまくはいかないようです。



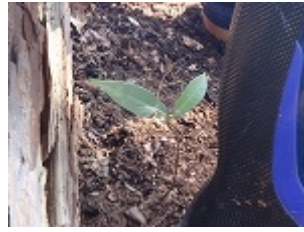
落ち葉貯めは、以前ここで出た間伐材で  
つくったものです。一昨年に入れた落ち葉は、  
下の方でだいぶいい腐葉土になっていました。



落ち葉をかいた場所を見てみると、  
それまでは目立たなかった植物たちが、  
密かに生長してきたのがよく分かります。



作業の後、これまた間伐材を使って四角く  
ベンチを作り、その中にどんな植物があるか  
を探してみました。



結果、3m×4m程度の中に、7種類の植物を見ることができました。

写真は左から、ジャノヒゲ、シラカシ、イヌツゲです。

今回落ち葉かきをしたことによって、光りがより多く林床に届くようになりました。

今後どんな植物が出てくるのか、それとも出てこないのか、楽しみです。



お昼を挟み、午後は恒例の気になる環境  
記事の発表からスタート。いつも様々な  
記事が発表され、私たちも勉強になります。



そのあとは、園内の様々なタイプの樹林を観察して行きました。

写真左から、これまで全く管理をせずヒサカキがかなり優先している樹林、昆虫の森として  
昆虫の好むような雑木林としてずっと管理している樹林、2005年に間伐を行った樹林です。



そして最後に、もともと植林地であったが今は管理されていない樹林を観察しました。

一見、全て昆虫の森のような雑木林としてしまった方が環境は良さそうですが、  
このように園内に色々なタイプの樹林があることは観察にも良いですし、それが  
多様性にも繋がっています。それぞれの環境を好む生物もいるのではないのでしょうか。



作業時間はあまりありませんでしたが、最後にノコギリを使って間伐し、その木をナタで細かくし、  
粗朶や杭として使えるように整えたところで、今回の研修会は終了となりました。

次回 **3月22日(土)**は、引き続き樹林環境の順応的管理を行います。

まだ現場研修会に参加されたことのない方は、是非参加してみてください。